

※ 誘導放流操作とは

6. 生物（魚類 誘導放流について）

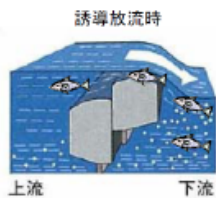
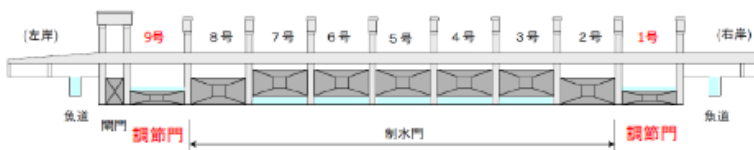
(1) 目的

- 調節門の操作により、春季に遡上する稚アユ、秋季に遡上するサケを堰上流部に誘導。

(2) 堰の操作方法

- 堰の上流水位が下流水位よりも高い時に、調節門上段扉を下げ（アユ10cm、サケ20cm）誘導放流を実施。（操作タイプ2：順流時、操作タイプ3：順流時）

河口堰水門全体図



誘導放流操作イメージ図

操作タイプ2、タイプ3の順流時に調節門（1号・9号）上段扉の操作を行い、表層水を下流に放流することによりこれを呼び水として誘導し、遡上を促進させる。



サケ遡上状況 (H22.11.24)

誘導放流実施状況

年度	誘導放流実施日数(日)		
	春季	秋季	計
19	-	-	-
20	-	3	3
21	8	8	16
22	1	7	8
23	5	25	30
計	14	43	57

※ 平成20年度の秋季から実施。
 ※ 右岸魚道改築工事のため、H21春季及びH22春季は9号調節門のみで実施。